

STOP 駅前ハコモノ

ごみ問題を優先処理すべきです

稲葉市長は、対外的な約束である「2月末までの新ごみ処理施設の建設場所決定」を守れず、「ギブアップ宣言（読売新聞）」しました。しかし、稲葉市長は、巨額の無駄遣いとなる「駅前ハコモノ（市庁舎やホール）」建設を引き続き推進すると宣言。ごみを受け入れていただいている市の議会で「約束違反だ」「ごみ処理を優先すべき」と厳しく批判されています。

いま、小金井市が行なうべきなのは、「建設場所の決定」と「持ち込みごみの大幅な減量」です。

私は、稲葉市長に対して、「駅前ハコモノ凍結宣言を行なうこと」「持ち込みごみを減らす施策を行なうために予算を増額すること」を求めています。

なお、私は、新ごみ処理施設の処理方式は、煙突の無い「非焼却方式」の検討を求めています。今後も最先端の技術導入に向け、政策提言を進めます。

市民サービスの向上を

- 子育て支援の充実（保育園の増設、保育ママの拡充で待機児解消）（子育て世代への財政支援の拡充）
- 後期高齢者入院見舞金制度の創設。元気な高齢者、障がい者の皆さんの就労の場の拡大。
- ココバス既存路線を、利用者の声を反映して、もっと便利に。市内北西部などに新規路線を拡大。
- 蛇の目ミシン跡地に市庁舎を確保し、無駄遣いの「リース庁舎」から脱却。同跡地には、図書館本館などの文化施設を併設。駅に近い場所には、小規模な市政センターや図書館分館を配置。
- スポーツ振興条例の制定。振興審議会の設置。
- 唯一着工が遅れている貫井北町地域センター建設計画を地域住民参加で立案。
- 小金井らしさを活かし、緑豊かで、うるおいのある駅周辺整備を推進。中央線高架下は「駐輪場」「地場産野菜即売所」など市民要望に応じてきちんと活用。
- 詳しい政策はホームページなどに掲載します。

STOP 高額人件費!

財政難なのに、多摩26市で一番高い「職員住居手当」引き下げを実現

小金井市の「職員住居手当」は、多摩26市で一番高い支給基準になっていました。「お金持ち」として知られる武蔵野市や府中市より高く、市境を接する西東京市・小平市の倍以上の額だったのです。「財政難だ」と言って、市民要望に背を向け、ボロボロの公共施設も建て替えないのに、職員には「ばらまき」では、納できません。

8年間にわたる私の追及で、今年3月、やっと少しだけ引き下げられることになりましたが、まだ不十分だと思っています。私は、引き続き「引き下げ」を強く求めてまいります。

「100年に一度の不況」なのに再任用職員（職員OB）16%賃上げ

昨年、稲葉市長は、再任用職員（正規職員OB）の給料・手当・ボーナスを一気に16%引き上げました。

反発した市民から撤回を求める陳情書が提出されましたが、自民・公明などの市長与党議員や、革新系議員は、100年に一度の不況で市民が苦しむ中、陳情書を不採択とし、賃上げを容認しました。

私は、市民雇用枠を拡大するため、市職員OBだけを優遇する再任用制度の廃止を求めています。引き続き頑張ります。

■このほか、私は、「高額人件費体質」「市民サービスに背を向ける硬直化した正規職員体制」を厳しく追及しております。利用者が多い曜日に正規職員の出勤が少ない図書館、職員の抵抗で保育時間の延長ができない学童保育も問題だと思います。私の「高額人件費」追及で、中学校の学校給食調理業務は民間委託化され、そのことで生み出した財源で食器の改善など教育環境の充実が進んでいます。稲葉市長は小学校の委託化に関しては後ろ向きです。中学校が委託化できて小学校ができない合理的な理由はありません。

「市長と議会に拒否権を与えず」 新たな住民投票制度を議員提案 3月3日、可決されました

1月22日、小金井市議会は、1万252筆（有権者の11%超）の署名を添えて直接請求された「市役所建設場所を選ぶ住民投票条例案」を1票差で否決しました。民意を無視する議決であり、許せません。

直接請求は、会員600名の市民団体「駅前庁舎の是非を問う住民投票を実現する会」が行ないました。私も役員の一員として、市民の皆さんといっしょに駅前などで署名運動を行ないました。

1票差での否決という事態を受けて、私は、「住民投票資格者の10%以上（約1万名）の署名が提出された場合、市長や市議会に拒否権を与えず、必ず住民投票を実施する」との条例案を起草し、他の議員に共同提案を呼びかけ、3名で議員提案を行ないました。

私たちの条例案は、3月3日の市議会本会議において、3票差で可決されました。

私どもの条例では、住民投票の投票資格者の10%以上の署名が集まれば、市長や議会も拒否できず、必ず住民投票が行なわれることとなります。ごみ問題が大変な中、無駄な駅前ハコモノ建設の阻止に役立つ制度です。引き続き市民の皆さんと一緒に頑張ります。



▲市議会本会議で条例案の提案理由を説明する渡辺大三（今年2月10日）